

# 第93回日本細菌学会総会

総会長 荒川宜親（名古屋大学 大学院医学系研究科 教授）

令和2年2月19日（水）～21日（金） ウィンクあいち

## シンポジウム・ワークショップ企画の公募について

第93回日本細菌学会総会のシンポジウム・ワークショップの企画提案を以下の要領で公募いたします。第93回総会におきましても、多数の一般公募企画を取り上げる予定です。既に決定している企画（資料1）との内容的な重複が無いようにご配慮の上、細菌学の広い分野からの企画を奮ってご応募ください。

### 公募企画の種類

#### 【シンポジウム及びワークショップ】

依頼講演からなる1テーマ2時間30分のシンポジウム企画10題程度と1テーマ2時間のワークショップ企画6題程度を募集いたします。

今回もシンポジウム等企画調整委員会が一般演題から選抜した演者によるワークショップを設ける予定にしております。このため、公募ワークショップについても全てを依頼演題で構成する形式（依頼演題型）に限らせていただきます。予めご了承ください。

\* **非会員演者について**:ワークショップで非会員の方に講演依頼をした場合に伴う費用（学会参加費・旅費・滞在費）は、原則として、1企画につき1名を総会から補助いたします。ただし、1テーマ当たりの非会員演者数が多数になる場合は、コンビーナの方に一部の負担をお願いする可能性があることをご理解ください。

### 企画の採択について

ご応募いただいた企画は、総会長、シンポジウム等企画調整委員会で審議調整したうえで採否を決定し、コンビーナ（提案者）にお知らせいたします。採択された企画内容の構成は原則として提案者にお任せいたしますが、総会長もしくはシンポジウム等企画調整委員会から調整・変更等をお願いする場合がありますことをご理解ください。

### 応募方法

下記事項をご記入のうえ、日本細菌学会事務局までE-mail(gakkai23@kokuhoken.or.jp)にてご提案ください。

- 1) テーマタイトルと研究領域区分・キーワード（資料2参照のこと）
- 2) コンビーナの氏名・学会員番号・所属・連絡先
- 3) 概要（400字以内）
- 4) 想定演者（案）の氏名・所属
- 5) 想定聴衆数（会場の都合により、ご希望の部屋とはならない可能性がございますが、ご了承下さい）
- 6) 応募される内容については資料1, 2を参考にして下さい。

**提案締切** 2019年7月16日（火）

## 資料1

シンポジウム(2.5h)		1日目午前及び午後, 2日目午前, 3日目午前	テーマ(仮題)
	国際シンポジウム		From understanding of AMR to development of drugs against AMR
	海外研究者後援及びミニワークショップ		Mycobacterium research
			人的交流増加による新たな病原菌対応への日本細菌学会のミッションー入管法改正とオリンピック開催に向けてー
			日本細菌学会が目指す産官学連携の戦略
			感染と免疫の分子機構(注: 非常に大きな範囲を含みますので, 応募時に内容重複は考慮しなくとも結構です)
			私はこれが評価されてPIIになれたのだと思います。~PIIになるには~
			特に本邦で耐性化が進んでいる薬剤耐性菌
ワークショップ(2h)		1日目午後, 2日目午後, 3日目午後	テーマ(仮題)
	ポスター選抜ワークショップ1		分野別に設定予定
	ポスター選抜ワークショップ2		分野別に設定予定
	ポスター選抜ワークショップ3		分野別に設定予定
	ポスター選抜ワークショップ4		分野別に設定予定

## 資料 2 研究領域区分

研究領域	キーワード
1 分類・疫学・感染症	a. 系統解析・分類・タイピング b. 疫学・分子疫学 c. 臨床微生物の分離・性状 d. 検出・同定・診断の技術 e. その他
2 生態	a. 生態・共生・環境微生物 b. 細菌叢 c. 生育環境・培養条件 d. その他
3 生理・構造	a. 代謝・合成・メタボローム b. 運動 c. 情報伝達（菌体内・菌細胞間） d. 菌体表層構造・膜構造・細胞骨格 e. 分泌と輸送 f. その他
4 遺伝・ゲノミクス・バイオテクノロジー	ゲノミクス・ a. バイオインフォマティクス・システムズバイオロジー b. 遺伝子水平伝播・可動性遺伝因子・進化 c. 遺伝子発現制御・トランスクリプトーム解析 d. 遺伝子組換え・解析技術・バイオテクノロジー・合成生物学 e. その他
5 病原性	a. 接着因子・定着因子 b. 毒素・エフェクター・生理活性物質 c. 細胞内侵入・細胞内寄生 d. 免疫回避・生体内増殖 e. 感染モデル f. その他
6 生体防御	a. 自然免疫 b. 適応免疫・ワクチン・その他の感染予防法 c. その他
7 抗菌性物質・薬剤耐性	a. 抗菌性物質 b. 薬剤耐性 c. その他
8 その他	